

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名 株式会社 アイ・テック

上場取引所 東

コード番号 9964 URL <http://www.itec-c.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大畑 榮一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 伏見 好史

TEL 054-337-2001

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	30,190	△1.8	647	—	978	—	499	—
25年3月期第2四半期	30,753	24.9	△27	—	△309	—	△241	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 541百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △267百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	41.75	—
25年3月期第2四半期	△20.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	53,813	21,065	39.0	1,752.35
25年3月期	51,084	20,704	40.4	1,722.39

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 20,980百万円 25年3月期 20,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,500	0.7	1,319	707.7	1,505	3.0	797	△5.6	66.57

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	12,215,132 株	25年3月期	12,215,132 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	242,080 株	25年3月期	241,948 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	11,973,146 株	25年3月期2Q	11,973,184 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀による大規模金融緩和等から円高が是正され輸出や生産に回復の動きが見られました。また、大企業を中心に企業収益も改善しており、海外景気の下振れが景気を下押しするリスク等はあるものの、景気は着実に持ち直しの動きが見られるようになりました。

当鉄鋼流通加工業界におきましては、国内鋼材市況は長期に渡り低迷しておりましたが、昨年の円高修正局面からスクラップ価格は上昇に転じ、国内鉄鋼メーカーは製品出荷価格の値上げを発表しており、年初から市況は徐々に回復傾向となっております。また、5、6月には回復基調に若干の陰りが見えたものの、その後は再び回復基調を維持しており概ね順調に推移しております。

このような環境下にあります当社グループ（当社及び連結子会社）は、東日本大震災の復興需要につきましては社会インフラ整備が中心ではあるものの、徐々に建築物等にも波及してきております。また、その他の地域においても積極的な営業活動を展開すると共に、得意先でありますゼネコンやファブリーケーターが請け負う建築物等の受注状況は改善してきており、鋼材の荷動きは回復しつつあります。この様な状況から、鋼材の販売、加工事業につきましては特段の大型物件の受注等はないものの幅広く受注を頂いた事から、販売量・販売金額共に前年を上回る結果となりました。また、東京支社を中心とした鉄骨工事請負事業は、民間設備投資は小売業や医療施設等の非製造業を中心に持ち直しの動きが見られ、物件情報等は徐々に増加しており、他社との競合など厳しさは残るものの、長年の施工実績等から受注活動は堅調に推移しております。工事売上額につきましては、工事完成基準適用の中小物件は完成物件も多く売上高は増加となりましたが、工事進行基準適用の大型物件につきましては昨年から多くの物件が完成間近となり進捗が一段落したことから売上高は大幅な減少となりました。これらの結果から当第2四半期連結累計期間の売上高は30,190百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

収益面におきましては、鋼材市況は年初から回復傾向となっており、ようやく鋼材流通業として適正な収益確保が出来る状況となって参りました。また、鉄骨工事請負事業におきましては、鉄骨加工単価は歴史的な低水準からは回復しておりますが、過去に受注した物件には収益性の低い物件も散見され、グループ各社においてコスト削減の努力は鋭意行っているものの、引き続き厳しいものとなっております。これらの結果から当第2四半期連結累計期間の営業利益は647百万円（前年同期は営業損失27百万円）となりました。また、円安の進行から為替差益217百万円の発生により経常利益は978百万円（前年同期は経常損失309百万円）、四半期純利益は499百万円（前年同期は四半期純損失241百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鋼材の販売・加工事業

鋼材の販売・加工事業は、建築関連の民間設備投資は緩やかに持ち直しており、鋼材の荷動きは回復しつつあることから、販売量・販売金額は共に前年同期を上回る結果となりました。

品種別に見ますと、当社主力のH形鋼は、従来の建築向けに加え、土木向けの販売も好調だった事から、販売量・販売金額共に前年を大幅に上回っております。また、販売価格も堅調に推移した事から収益に貢献しております。鋼板類は、昨年は大型物件の受注により大幅増となっていた反動から当第2四半期連結累計期間は前年同期を大きく下回る結果となりました。また、鋼管類は、ロール成形コラム、プレス成形コラム共に好調に推移した事から、販売量・販売金額共に前年同期を大幅に上回る結果となりました。以上の結果から、売上高は24,746百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は921百万円（前年同期比1072.0%増）となりました。

② 鉄骨工事請負事業

鉄骨工事請負事業は、民間設備投資は回復の兆しを見せており、首都圏、関西圏及び中京圏の大都市を中心とした再開発や大型物件に加え、地方の中小物件にもようやく動きがみられる様になって参りました。受注状況につきましては、前年同期に比べ受注件数、受注金額共に若干下回っているものの、概ね順調に推移しております。売上高につきましては、工事進行基準適用の大型物件は昨年受注の物件の進捗が一段落したことに加え、新規着工の伸び悩みから大幅な売上高の減少となったものの、工事完成基準適用の中小物件は、完成物件数、売上高共に前年同期比並みに推移いたしました。以上の結果から、売上高は5,270百万円（前年同期比29.1%減）となりました。また、収益につきましても非常に厳しく、各鉄骨加工子会社において原価割れの工事が散見された事等から営業損失は141百万円（前年同期は営業損失37百万円）となりました。

③ その他

その他は、倉庫業及び運送業であり、運送業についてはグループ外の鉄骨製品輸送を積極的に行った事から売上高は前年同期を大幅に上回りました。倉庫業につきましても堅調に推移いたしました。これらにより売上高は174百万円（前年同期比57.8%増）、営業利益は61百万円（前年同期比1248.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は53,813百万円(前連結会計年度末は51,084百万円)となり、2,728百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の減少1,066百万円及び鋼材の販売・加工事業等の売上増加に伴う受取手形及び売掛金の増加3,978百万円等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は32,747百万円(前連結会計年度末は30,380百万円)となり、2,367百万円増加しました。主な要因は、鋼材の仕入増加に伴う買掛金の増加1,369百万円及び短期借入金の増加699百万円等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は21,065百万円(前連結会計年度末は20,704百万円)となり、361百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加320百万円、その他有価証券評価差額金の増加38百万円等であります。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は39.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,066百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には2,547百万円(前年同期比15.4%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,423百万円(前年同期比47.6%増)となりました。これは主に、売上債権の増加額4,039百万円及び未払消費税等の減少額353百万円等がありましたが、税金等調整前四半期純利益967百万円、仕入債務の増加額1,369百万円及び減価償却費304百万円等により一部相殺されたものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は171百万円(前年同期比305.2%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出365百万円等がありましたが、有形固定資産の売却による収入95百万円及び保険積立金の払戻しによる収入103百万円等により一部相殺されたものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は494百万円(前年同期比75.9%減)となりました。これは主に、短期借入金の増加額699百万円と配当金の支払額179百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月14日の平成25年3月期決算短信にて公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の業況の変化によって異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合には、確定次第速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,669,293	2,602,480
受取手形及び売掛金	15,810,603	19,789,188
商品及び製品	4,988,022	4,787,909
原材料及び貯蔵品	2,833,108	2,225,700
未成工事支出金	3,757,880	4,280,941
繰延税金資産	574,705	534,313
その他	511,330	654,348
貸倒引当金	△60,600	△54,000
流動資産合計	32,084,344	34,820,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,562,088	12,611,314
減価償却累計額	△6,984,535	△7,150,331
建物及び構築物（純額）	5,577,552	5,460,983
機械装置及び運搬具	5,301,984	5,764,579
減価償却累計額	△4,950,797	△4,996,965
機械装置及び運搬具（純額）	351,187	767,614
土地	10,740,576	10,740,576
リース資産	161,848	278,698
減価償却累計額	△49,846	△74,474
リース資産（純額）	112,001	204,223
建設仮勘定	419,446	—
その他	340,618	347,916
減価償却累計額	△322,683	△325,744
その他（純額）	17,934	22,171
有形固定資産合計	17,218,700	17,195,569
無形固定資産		
投資その他の資産	40,958	52,490
投資有価証券	758,715	799,533
関係会社株式	1,000	1,000
関係会社出資金	38,375	38,375
保険積立金	513,965	454,775
繰延税金資産	40,281	39,419
その他	842,651	883,097
貸倒引当金	△454,288	△471,748
投資その他の資産合計	1,740,700	1,744,452
固定資産合計	19,000,358	18,992,512
資産合計	51,084,703	53,813,393

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,964,774	9,333,967
短期借入金	16,599,931	17,299,920
リース債務	38,723	60,768
未払法人税等	115,192	204,162
未払消費税等	409,403	49,991
賞与引当金	77,900	78,100
役員賞与引当金	37,800	20,700
未成工事受入金	1,593,286	1,953,473
その他	832,273	659,195
流動負債合計	27,669,284	29,660,278
固定負債		
リース債務	63,866	129,333
繰延税金負債	781,591	1,038,791
退職給付引当金	1,025,225	1,057,001
役員退職慰労引当金	473,437	542,683
負ののれん	331,784	284,386
その他	35,407	35,407
固定負債合計	2,711,312	3,087,604
負債合計	30,380,597	32,747,882
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,829	3,948,829
資本剰余金	4,116,979	4,116,979
利益剰余金	12,628,408	12,948,687
自己株式	△204,469	△204,606
株主資本合計	20,489,746	20,809,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,695	171,046
その他の包括利益累計額合計	132,695	171,046
少数株主持分	81,663	84,575
純資産合計	20,704,106	21,065,511
負債純資産合計	51,084,703	53,813,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	30,753,846	30,190,932
売上原価	28,260,584	26,855,749
売上総利益	2,493,262	3,335,183
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	661,647	643,852
貸倒引当金繰入額	2,087	11,656
給料手当及び賞与	704,714	758,202
賞与引当金繰入額	51,051	55,311
役員賞与引当金繰入額	18,500	20,700
退職給付費用	40,109	39,201
役員退職慰労引当金繰入額	13,905	71,149
減価償却費	154,942	165,560
その他	873,859	922,173
販売費及び一般管理費合計	2,520,818	2,687,808
営業利益又は営業損失(△)	△27,555	647,374
営業外収益		
受取利息	2,010	1,837
受取配当金	5,375	6,000
仕入割引	14,352	15,933
受取賃貸料	11,261	19,513
為替差益	—	217,146
デリバティブ評価益	—	26,030
負ののれん償却額	47,397	47,397
役員退職慰労引当金戻入額	54,963	1,903
その他	25,982	49,309
営業外収益合計	161,343	385,073
営業外費用		
支払利息	55,996	45,082
為替差損	120,826	—
デリバティブ評価損	222,545	—
その他	43,419	8,614
営業外費用合計	442,789	53,696
経常利益又は経常損失(△)	△309,001	978,751
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,787
補助金収入	5,272	645
特別利益合計	5,272	2,433
特別損失		
投資有価証券評価損	—	13,526
特別損失合計	—	13,526

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△303,728	967,658
法人税、住民税及び事業税	20,424	186,773
法人税等調整額	△84,566	278,149
法人税等合計	△64,141	464,923
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△239,586	502,735
少数株主利益	1,773	2,859
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△241,360	499,876

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△239,586	502,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,665	38,403
その他の包括利益合計	△27,665	38,403
四半期包括利益	△267,252	541,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△268,994	538,227
少数株主に係る四半期包括利益	1,742	2,912

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△303,728	967,658
減価償却費	254,214	304,006
負ののれん償却額	△47,397	△47,397
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△58,466	10,859
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,100	200
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,300	△17,100
退職給付引当金の増減額(△は減少)	22,154	23,380
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△124,960	69,246
受取利息及び受取配当金	△7,385	△7,838
支払利息	55,996	45,082
為替差損益(△は益)	104,593	△33,942
投資有価証券評価損益(△は益)	—	13,526
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,787
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,581	△1,239
有形固定資産除却損	1,139	158
無形固定資産除却損	2,597	—
デリバティブ評価損益(△は益)	222,545	△26,030
保険解約損益(△は益)	20,811	△37,677
補助金収入	△5,272	△645
売上債権の増減額(△は増加)	△1,591,572	△4,039,614
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,943,778	284,460
その他の流動資産の増減額(△は増加)	93,379	△97,192
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,143,336	1,369,192
未払消費税等の増減額(△は減少)	251,661	△353,648
未成工事受入金の増減額(△は減少)	343,297	360,186
その他の流動負債の増減額(△は減少)	108,000	△71,258
その他	△3,617	594
小計	△887,348	△1,286,819
利息及び配当金の受取額	7,373	7,914
利息の支払額	△58,509	△45,740
補助金の受取額	5,272	645
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△31,111	△99,100
営業活動によるキャッシュ・フロー	△964,322	△1,423,101

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△84,980	△54,980
定期預金の払戻による収入	54,980	54,980
有形固定資産の取得による支出	△169,721	△365,782
有形固定資産の売却による収入	42,183	95,606
投資有価証券の取得による支出	△656	△669
投資有価証券の売却による収入	—	6,821
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△200	127
長期貸付けによる支出	△10,034	—
長期貸付金の回収による収入	884	1,034
保険積立金の積立による支出	△8,184	△6,259
保険積立金の払戻による収入	135,092	103,126
その他	△1,759	△5,791
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,396	△171,784
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,300,761	699,989
リース債務の返済による支出	△15,453	△25,858
自己株式の取得による支出	—	△136
配当金の支払額	△239,103	△179,863
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,046,204	494,130
現金及び現金同等物に係る換算差額	△104,593	33,942
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	934,892	△1,066,813
現金及び現金同等物の期首残高	1,268,595	3,614,313
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,337	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,206,825	2,547,500

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼材の販売 ・加工事業	鉄骨工事 請負事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,211,539	7,431,982	30,643,521	110,324	30,753,846	—	30,753,846
セグメント間の内部 売上高又は振替高	633,468	69,870	703,338	877,562	1,580,900	△1,580,900	—
計	23,845,007	7,501,852	31,346,860	987,887	32,334,747	△1,580,900	30,753,846
セグメント利益 又は損失(△)	78,667	△37,257	41,409	4,593	46,003	△73,559	△27,555

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、運送事業及び倉庫事業を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額△73,559千円には、セグメント間取引消去92,408千円、全社費用△165,968千円が含まれております。全社費用は、主に当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼材の販売 ・加工事業	鉄骨工事 請負事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,746,471	5,270,379	30,016,851	174,080	30,190,932	—	30,190,932
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,589,911	4,964	1,594,875	951,793	2,546,669	△2,546,669	—
計	26,336,383	5,275,344	31,611,727	1,125,874	32,737,601	△2,546,669	30,190,932
セグメント利益 又は損失(△)	921,947	△141,982	779,964	61,937	841,902	△194,527	647,374

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、運送事業及び倉庫事業を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額△194,527千円には、セグメント間取引消去42,626千円、全社費用△237,153千円が含まれております。全社費用は、主に当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。